

乳腺外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療により採取した既存の検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 乳癌におけるネクロトーシス関連蛋白の発現解析

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・病理診断科 講師 石田光明

《研究の目的》ネクロトーシスは、プログラムされたネクローシス（壊死）で、近年様々な腫瘍の発生や進展に関係すると注目されていますが、乳癌におけるネクロトーシスの役割についてはほとんど明らかにされていません。本研究課題では、非浸潤性乳管癌を含む乳癌についてネクロトーシス関連蛋白の発現状況を評価し、予後などとの関係を解明します。

《研究期間》 研究許可日～2025年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

乳癌の患者さんで、2010年1月1日から2020年12月31日の間に生検および切除を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身体所見、臨床病期、病歴、病理学的所見、併用薬剤、検査結果（乳腺画像検査）、治療反応性・予後等

試料：既存の生検および手術で採取した乳癌組織のパラフィンブロック

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 病理診断科 担当医師 講師 石田光明

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-2794 FAX 072-804-2794